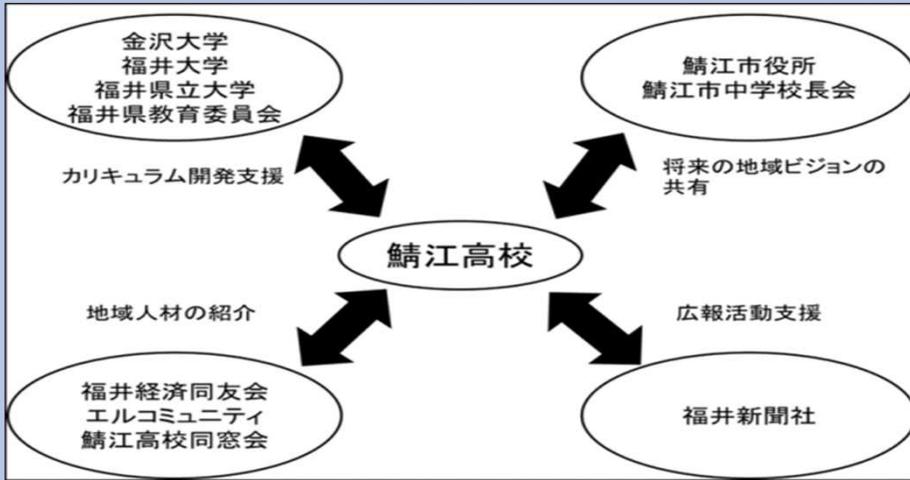


鯖江型高校教育「オールS A B A E」の構築のもと、持続可能な地域社会を形成する市民の育成

本校では平成29年度より鯖江市役所と協働で「鯖江市デジタルパンフレット」を作成し、全教科で地域教材を活用した授業開発を実施してきた。この取組みをさらに深化させるため、行政、地元経済界、NPO法人など地元鯖江に根差した各種団体との結びつきを強化し、地域と協働する高校教育のモデルづくりを進めていく。

コンソーシアムの体制



関係機関の役割

- 【大学等】**  
カリキュラム開発と評価に関する指導・助言
- 【自治体等】**  
将来の鯖江市についてのビジョンの提供と共有
- 【地域団体等】**  
探究活動に資する地域人材の紹介・調整
- 【メディア等】**  
市民への情報発信及び本事業成果の発信に関する研究開発の支援

令和元年度の目標

- ①「総合的な探究の時間」におけるカリキュラムおよび評価方法の開発
- ②授業改善に関する教員研修会の実施
- ③地域に開かれた学校を目指した学校行事などの見直し

取組状況

- ①福井県教育総合研究所等との連携による評価方法の開発中
- ②鯖江の現在・未来を見据えた授業づくりについての研修会を実施
- ③9月実施の学校祭の地域への開放

成果

- ①鯖江商工会議所・鯖江市役所・本校の相互連携協定締結
- ②各教科での地域教材を活用した特別授業等の実施（8回）
- ③マスコミを活用した広報（6社・5回）
- ④地域資源を活用した「総合的な探究の時間」のカリキュラム開発

課題

- ①鯖江の特色を活かしたカリキュラム開発  
鯖江には、漆器や眼鏡などの伝統産業やIT産業など特色ある企業が数多く存在する。これらの企業との連携を促進する。
- ②生徒の探究活動の充実  
福井県の課題解決型学習モデル開発事業実践校等との連携を促進する。また、SDGsに即した課題設定の方法について研究を進める。
- ③教員研修の充実  
本校教員の鯖江に対する理解を深めていくための教員研修会を実施する。